

福井連協たより

発行責任者 近藤源一郎
編集責任者 政所峯子

連協拡大幹事会を開催

福井連協（近藤源一郎会長）は、2月20日（木）、全支部の幹事も対象とした第3回（拡大）幹事会を開

催しました。議題は、会員の拡大と組織慶弔制度の見直しでした。



会員の拡大については、次期連協総会までに全支部が「会員の10%目標」を達成するよう「拡大ゼロを無くそう」との合い言葉で、

知人宅訪問など粘り強く取り組むことを再確認しました。続いて「組織慶弔制度の見直し」については、坂本哲治中央幹事から組織慶弔制度の全国台の今日的状況と中央幹事会が示した見直し案の説明を受け、参加者から多くの意見が出ました。出された意見は福井連協の意見としてまとめられ、

中央幹事会に反映されることとなります。



「連協おもてなしイベント」参加者募集

福井連協新年号の会報でのご案内・お知らせしました福井南部支部主催の今年度の「おもてなしイベント」(年稿博物館見学、三方の鰻ランチ、レインボウラインと三方五湖の絶景堪能)の申込みが始まっています。申込み方法およびイベント

ト行程については、新年号に詳細を掲載しましたので、今一度お読み下さい。分からないことがありましたら、支部役員または連協にお聞き下さい。なお、申込みの締切りは5月10日までです。よろしく願います。



新春交換会で現役と交流

J P 労組福井連協内の現役4支部（福井東部、福井、

福井中部、福井南部）は、令和2年の新春交換会をそ



米寿のお祝いを手渡し

福井南部支部（古谷明会長）は、令和2年

ました。

最初の米寿会員となる武長進さん宅を支部役員の前橋幹事が訪問し、お祝い金と福井連協近藤会長メッセージを手渡し、大変喜ばれ

6月には福井中部支部の林繁雄さん、8月には同じく福井中部支部の寺下義信さんが米寿となりました。同じように自宅を訪問し、手渡しをする予定です。

それぞれの地域で開催し、相對する退職者の会支部役員を招待してくれたことに感謝、支部役員の数人が参加しました。

現退一体とは言うものの、なかなか話す機会もない状況の中、新春交換会に参加し交流と親睦をはかることが出来ました。

現役の各支部は、くじ引きやビンゴゲームなど趣向を凝らした内容に、参加者

核兵器廃絶1000万署名 536筆を集約・送付

昨年9月から取り組みんできた「核兵器廃絶1000万署名」活動

職者連合に送付しました。

は、会員とご家族に協力いただき、福井連協は合計536筆を集約し、2月26日に日本退

核兵器廃絶と世界の恒久平和の実現に向け、署名用紙は、国際連合事務総長と日本国の内閣総理大臣に提出されます。

の歓声が絶えませんでした。

